

題 目 伊賀地域における祇園花行事

発表者 岡野 節子

1. はじめに

前回の調査では三重県における天王祭、祇園祭の分布を明らかにし、それぞれの祭祀の内容については数量化Ⅲ類による分析を行った。その結果、伊賀地域（阿山町、伊賀町、上野市、大山田村、島ヶ原村、青山町、名張市）は他地域とは異なった特徴を把握することができた。そこで、伊賀地域の祭祀について現地において聞き取り調査を行った。しかし、祭祀の実施日が重複している地域については文献による収集を行ったので報告する。

2. 調査方法

前回に質問紙法による調査を行い、その結果特徴ある地域について聞き取り調査を実施した。時期は2001年7月～8月とし、対象は伊賀地域（阿山町、伊賀町、上野市、大山田村、島ヶ原村、青山町、名張市）とした。内容は伊賀地域（阿山町、伊賀町、上野市、大山田村、島ヶ原村、青山町、名張市）の祭祀内容および特徴とした。

3. 結果および考察

祭祀実施の状況について阿山町、伊賀町、大山田村は祭祀の分布密度が濃密に行われている。それに対して、島ヶ原村、上野市、名張市、青山町の順に祭祀は実施されているが花取りや団扇取りは行われず、各家へ配布している。祇園花行事の内容は6形態に分別される。①2m位の太い竹の上部に麦藁を巻きつけたものを芯にしてその周囲に色紙を何段にも張った逆四角錐形にしたもの。②2m位の太い竹の上部に麦藁を巻きつけたものを芯にして枝垂れ柳状に割竹を挿しこんだもので、1本、1本の割竹に緑色の紙を巻きつけた、そこに12～15個の造花をつけたもの。③2m位の太い竹の上部に麦藁を巻きつけたものを芯にして、そこに造花や団扇をつけた割竹を挿したもので逆円錐形をしているもの。④小さな藁ツトに造花を挿したもの。⑤大きい青竹に数本の団扇をつり下げたもの。⑥花および団扇を各家に配布しているものに分類される。①の場合は阿山町、伊賀町、上野市北部に多く分布している。②の場合は青山町に多く分布している。③の場合は上野市西部、島ヶ原村に多く分布している。④の場合は青山町の一部に分布しており、②の場合とセットに存在する。⑤の場合は名張市、上野市南部に多く分布している。⑥の場合は①②③の形態が簡略化されたのではないかと考えられ、上野市の中央部に多く分布している。

4. おわりに

祇園花行事の祭祀内容は前述のように6形態に分別できる。分布の地域（阿山町、伊賀町、上野市、大山田村、島ヶ原村、青山町、名張市）は阿山町や伊賀町に多く、これらの地域は祭祀分布密度が濃密であることや信仰が強いのではないかと考える。それに対して名張市では祭祀の実施も少ないことから分布密度も粗密で信仰も弱いのではないかと考えられる。